

平成19年11月20日

報道・出版関係者 各位

東 北 大 学

第8回 東北大学100周年記念セミナー開催について
「世界をリードする科学技術者の育て方—新エリート養成への日仏の挑戦—」

東北大学(仙台市、総長：井上明久)は2007年に創立100周年を迎えました。これに向け、2004年より「*TOHOKU UNIVERSITY, CREATNG GLOBAL EXCELLENCE*」(東北大学は世界最高水準の研究・教育を創造します)をキャンペーンスローガンとして、「東北大学100周年キャンペーンを開始いたしました。

キャンペーンでは、新しいロゴマークの制作やメールマガジンの発行、地域との交流などを進めておりますが、その中心をなすのが、東北大学と日本経済新聞社の主催による、東北大学100周年記念セミナー「科学が次の100年で創り出せること」です。毎回、テーマを絞り、人類社会が今後100年間で直面する問題に、人文・社会科学も含めた科学がどのような貢献をなし得るのかを探求します。

これまで7回開催し、多数の応募の中から抽選で約600名の方にご参加いただき、東北大学の最先端の研究成果をわかりやすくご紹介いたしました。第8回は、東北大学と大学間協定を締結しているフランス国立中央理工科大学院リヨン校とフランス国立リヨン応用科学院と連携して、「世界をリードする科学技術者の育て方—新エリート養成への日仏の挑戦—」というテーマで、下記のとおり開催いたしますので、ご多用の折とは存じますが報道・出版関係の皆様におかれましても、誌面づくり等の参考に是非臨席賜りますようご案内申し上げます。

記

日 時： 平成19年12月11日(火) 13:00~17:00(開場12:30)
会 場： 日経ホール 【日本経済新聞社東京本社8階】
東京都千代田区大手町一丁目9番5号(地下鉄大手町駅下車)

お手数ですが、取材をご希望の際は、11月29日(木)まで下記へお知らせくださるようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ

東北大学総務部百周年記念事業室

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

TEL 022-217-5059

FAX 022-217-5030



TOHOKU
UNIVERSITY

科学が次の100年で創り出せること

第8回

Ecole Centrale de Lyon150周年・東北大学100周年・INSA-Lyon50周年記念

世界をリードする科学技術者の育て方

新エリート養成への日仏の挑戦

[日時] 2007年12月11日(火) 13:00~17:00 (開場12:30)

[場所] 日経ホール (東京都千代田区大手町)

[主催] 東北大学・Ecole Centrale de Lyon (フランス国立中央理工科大学院リヨン校)・
INSA-Lyon (フランス国立リヨン応用科学院)・日本経済新聞社

[後援(予定)] 外務省・文部科学省・在日フランス大使館

〈プログラム〉 ※プログラム内容は、予告なしで変更する場合がございます。ご了承ください。

司会/滝 順一 (日本経済新聞社編集委員)

13:00~【主催者挨拶】 東北大学総長 井上 明久
駐日フランス大使 Gildas Le Lidec

13:15~【挨拶及び学校紹介】 Ecole Centrale de Lyon学長 Patrick Bourgin
INSA-Lyon学長 Alain Storck

14:00~【講演】

「創造と変革を担う人材育成とは — 高等教育に期待すること —」

ソニー株式会社取締役代表執行役社長兼エレクトロニクスCEO 中鉢 良治

「テクノサイエンスのすすめ — 知識社会が求める新たなエンジニア像 —」

哲学者・元フランス国立美術学校学長 Yves Michaud

「日本における勉学の文化、これまでとこれから」

元東北大学総長、前総合科学技術会議議員 阿部 博之

「頭脳流出時代のエリート教育 — 国際競争と国際協力 —」

フランス科学技術大統領諮問会議座長 Serge Feneuille

[日・仏同時通訳付]

締切/2007年11月27日(火)

参加ご希望の方は、インターネットまたはFAXにて、「第8回セミナー参加」と明記のうえ、
郵便番号、住所(入場券の発送先)、氏名、年齢、会社または学校名、部署または専攻、
電話番号を記入し、下記宛先までお申し込みください。

[インターネット] <http://www.tohoku.ac.jp/seminar100/> [FAX] **022-217-5030**

※当選者の発表は招待状の発送をもって代えさせていただきます。

参加者募集
《入場無料》
定員/600名

お申し込み・お問い合わせ

東北大学総務部百周年記念事業室
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1 TEL.022-217-5059・5905

2007年に、それぞれ創立150周年、100周年、50周年を迎えるEcole Centrale de Lyon（フランス国立中央理工科大学院リヨン校）、東北大学、INSA-Lyon（フランス国立リヨン応用科学院）は、これまでの数十年に及ぶ研究・教育協力の実績を基に、研究、教育、産学連携の全面に亘る、強固な国際アライアンスを構築することに致しました。

グローバル化・ハイテク化が進む現代の世界では、優れた専門知識、国際性に加えて、社会や組織を改革・リードする能力を備えた新たなエリートの育成が求められています。

今回のセミナーでは、このような課題への日仏3校による共同の挑戦をご紹介します。



Ecole Centrale de Lyon（フランス国立中央理工科大学院リヨン校）

リヨン都市圏の中心に位置するEcole Centrale de Lyonは、フランスの科学技術の真髄を象徴する存在です。本学は工学の様々な分野に精通するジェネラリストのエンジニアを養成するために、現代の経済活動に即した基礎知識と専門知識を学生に授けることを目指しています。また、産学連携をリードするエンジニアの育成活動をその教育方針の中心に据え、国際的レベルにある数々の研究所を学生に開放すると同時に、海外インターンシップを広く教育課程に取り入れています。単なる知識の獲得に満足することなく、政府や企業のトップにあって世界の発展のために貢献する能力を学生たちに授けるのが本学の教育です。

<http://www.ec-lyon.fr/index.jsp>



東北大学

東北大学は1907年、3番目の帝国大学として創立され、現在は10学部、15大学院研究科、5附置研究所、3専門職大学院を有し、約17,900人の学生が学んでいます。開学にあたり、「研究第一主義」と「門戸開放」を基本理念とし、今日に至るまで各部署および研究所がそれぞれの分野で切磋琢磨し、国内外で指導的地位を築いています。また、昨年、井上明久総長が就任し、教育、研究、社会貢献、キャンパス環境、組織・経営の5つの分野のアクションプランを実践して「世界リーディング・ユニバーシティ」としての地位の早期確立を目指すという「井上プラン2007」を公表しました。

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/>



INSA-Lyon（フランス国立リヨン応用科学院）

1957年に創設されたINSA-Lyonは5000人の学生を擁する、フランスでも最もハイレベルの工学系の高等教育機関の一つです。本学はヨーロッパの中心に位置する国際的な教育機関であり、工学の各分野に精通する学生を育成します。本学で学んだ学生たちは5年の修学期間を経て、様々な分野の専門知識を獲得する共に、ヒューマニストで革新的であり、進取の気性に富むエンジニアとして巣立っていきます。本学は外国との交流も積極的に推進しています。そのために特に国際的なプログラムとしてユーリンサ(Eurinsa: ヨーロッパ)、アジンサ(Asinsa: アジア)、アメリンサ(Amerinsa: アメリカ)を設けました。科学・経済の発展の拠点として、INSA-Lyonは研究活動も積極的に展開しており、その成果は広く国際的に高い評価を得ています。

<http://www.insa-lyon.fr/>